



糖尿病には、インシュリンが全く分泌されないⅠ型糖尿病とインシュリンの分泌が低下又は効きにくくなることで生じるⅡ型糖尿病がある。生後15ヶ月前後でⅠ型糖尿病を発症する特殊なマウス、生後12週、13週の段階で低線量放射線を照射する実験を行った。実験の結果、12週の段階で低線量放射線を照射したマウスについて糖尿病の発症が抑制される結果となった。